題材: クラウドワークスアカデミー「Claude Code講座【初級】」の講座ページ

講座ページの改善案

谷 拓稜
2026年11月作成

1 いまのサイトで分かったこと

受講生として、申し込む前に知りたかったことと、講座のページ(2026年11月13日に確認)を見比べました。講座の良さが、ページでは伝わりきっていません。

申し込む前に知りたかったことは、ページにあるか

知りたかったこと		今のページ
何が作れるか(アプリ・ツールまで作れるか)	△	文章での説明だけ
作ったものの見た目	×	画像が無い
受けた人の結果	△	noteの記事へのリンクだけ
Claudeの料金を入れた合計のお金	△	合計は書いていない
受けたあとに取れる仕事	×	書いていない
仕事を取るまでの支援	×	書いていない
サポートの手厚さ	△	一文の説明だけ
作れるものの幅	△	文章での説明だけ

◯ = はっきり書いてある/△ = 少しある・分かりにくい/× = 無い

1 はっきり書いてあるものが、ありませんでした

左の8つのうち、はっきり書いてあるもの(◯)はありませんでした。「何が作れて、それが仕事やお金になるのか」が見えにくい状態です。

2 決め手は、ページの下の方にあります

私が申し込んだ決め手は「手の届く値段だけど、決して安くないので真剣に取り組める」「クラウドワークスの講座だから」「質問・添削がある」でした。どれもページにありますが、下の方の「アカデミーとは」にあります。

3 受けてから気づいた良さがあります

「先に知っていれば、もっと早く決められた」と思ったのは、サポートの手厚さと、作れるものの幅です。

※ 受講生1人(私)の声と、2026年11月13日時点のページをもとにしています。

2 似たサービスとの違い

Claude Codeを学べる7つのサービスの公式ページと比べました(2026年11月13日に確認)。クラアカにしかない強みがあるのに、ページで見せきれていません。

	長い期間の月額コース	数時間の講習・動画の講座	クラウドワークスアカデミー
長さ	3か月以上のものが多い	1〜6時間ほど	3週間(合わなければ、ここでやめられる)
人のサポート	ライブの授業・相談など	質問や添削は見当たらないものが多い	メンターに何度でも質問できる+添削
課題のゴール	アプリなど、開発の作品づくりが中心	会社の仕事の効率化が中心	note記事・提案資料・ポートフォリオサイトの公開(仕事を取る流れ)
始め方	開発の道具を入れるものが多い	黒い画面(ターミナル)を使うものもある	デスクトップアプリで始められる
ページの見せ方	作る作品・学ぶ量をはっきり見せている	動画の本数・時間、評価の数字を見せている	作品の例・学ぶ量・サポートの様子は無い

- **クラアカの強み(ほかでは見当たらなかったもの)**
  - 課題が「仕事を取る」流れになっている
  - クラウドワークスの仕事のデータをもとにした講座。登録者は790万人以上(講座ページより)
  - 39,600円(税込)の一括で、3週間、人のサポートがつく
  - 3週間で区切っていて、小さく試せる

- **ほかのページが見せていて、クラアカのページに無いもの**
  - 作るものの見た目・作品の例
  - 学ぶ量の目安(動画の時間・1週間に要る時間)
  - 中身を試せる入口(お試し・プレビュー)
  - 受講者の数字や声、割引・返金の書き方

→ 選んだ3つの案は、今ある強みを「見せる」ための改善です。開講日や値段を変える必要はありません。

改善案1 作れるものを、画像で見せる

課題

作れるものが文章だけで、画像がありません。受講生の私も「アプリやツールまで作れるのか」が、ページを見ても分かりませんでした。

変えること

受講生が3週間で作ったもの(自己紹介スライド・サイト改善の提案・ポートフォリオサイト)の画像と一言を並べ、講座で作れるものの幅を一目で見せます。

一言は「どんな人が・何を作れたか」。作れるものの幅は、講座の内容(スライド・note記事・提案資料・HTMLの試作・ポートフォリオサイト)をもとに、運営の方と確かめて載せます。



※ ページの図はイメージです。実際の画面ではありません。

期待できる変化

申し込む前に「自分にも作れそうか」「お金に見合うか」を判断しやすくなります。

私ができること

- 作品の見せ方の案(画像の並べ方・一言の文章)を作ります
- 受講生として、自分の課題の作品を例に出せます
- 広告代理店で提案資料を作っている経験を生かし、図と文章にまとめます

お願いしたいこと: 受講生の作品を載せてよいかのご判断

改善案2 サポートの手厚さを、流れと例で見せる

課題

質問・添削は、私が申し込んだ決め手の一つです。それなのにページでは一文の説明だけで、私も手厚さに気づいたのは受けてからでした。

変えること

質問から添削までの流れを図にし、やり取りの例と、
添削を大事にする考え方を載せます。

[運営の方の言葉(公開版のため伏せています)]

今 一文で説明

サポート

メンターに何度でも質問できる
(チャットは24時間)

Week 2 の記事は添削あり

どんなやり取りか想像しにくい

›

変えたあと 流れ・例・考え方

質問と添削の流れ

課題を出す › 質問する › 返事で直す › 添削で仕上げる

やり取りの例

受講生: ここで止まりました

メンター: この順番で
試してください

[運営の方の言葉]

※ ページの図とやり取りはイメージです。実際の画面・やり取りではありません。

期待できる変化

「一人でつまずかないか」という不安が減り、値段の理由
(人のサポート)が伝わりやすくなります。

私ができること

- 受講生として実際に受けたサポートをもとに、流れの図を作ります
- やり取りの例と、添えるひとことの案を作ります

お願いしたいこと: 返信の目安・添削の回数など、出してよい数字のご確認/やり取りの例を載せてよいかのご判断

改善案3 決め手と運営の考えを、価格の近くへ

課題

決め手になった「値段の考え方」と「クラウドワークスが運営していること」が、ページの下の方の「アカデミーとは」にあり、
目に入りにくい場所にあります。

変えること

価格のすぐ下に「なぜこの値段なのか」を置き、
ページにすでにある言葉と運営の方の言葉を並べます。

> [運営の方の言葉(公開版のため伏せています)]

- スクールで利益を上げるための価格設定を
  していない(ページにある言葉)
- クラウドワークスが運営(登録者790万人以上。講座ページより)
- 質問・添削つき



※ ページの図はイメージです。実際の画面ではありません。

期待できる変化

「安いから」ではなく、「本気で取り組める、
ちょうどいい値段」として伝わりやすくなります。

私ができること

- 今のページの並びと、「なぜこの値段なのか」を価格のすぐ下に移したあとの
  並びを、図で見比べられるようにまとめます
- ページにある言葉と運営の方の言葉をそのまま使うので、新しい情報を
  用意していただく必要はありません

お願いしたいこと: ページのどこに入れるかのご判断

参考 今回は選ばなかった案

分析の中で出た、ほかの7つの案です。運営の方の判断や、私が持っていない材料が要るため、今回は選びませんでした。

案	変えること	今回選ばなかった理由
申し込める状態を作る	次の開講予定と、予約の入口を置く	開講日と受け入れの体制は、運営の方が決めることのため
受けたあとの道筋を書く	取れる仕事の例と、仕事を取るまでの流れを図にする	仕事のデータが必要なため(データをいただければ、図と構成はお手伝いできます)
合計のお金と時間の目安	受講料+Claudeの有料プラン、1週間の学習時間を表にする	動画の量や学習時間など、運営の方の数字が必要なため
受講生の声をページの中に	一言の引用と「どんな人が・何を作れたか」を載せる	ほかの受講生への聞き取りと、掲載の許可が必要なため
3週間の理由と次の一歩	小さく試せる考え方と、次に進める講座を示す	次の講座の用意は、運営の方が決めることのため
割引・返金・必要なものの明記	割引、返金の決まり、有料プランが要ることを価格の近くに書く	割引と返金の中身は、運営の方が決めることのため
中身を試せる入口	動画の一部など、無料で見られるものを置く	何を無料にするかは、運営の方が決めることのため

改善案1〜3は、開講日や値段を変えずに、今ある良さを伝える改善です。
この3つなら、私が担当できます。

- **まとめてお願いしたいこと**
  - 受講生の作品・やり取りの例を載せてよいかのご判断
  - 返信の目安など、出してよい数字のご確認
  - ページのどこに入れるか・更新をどなたがされるかのご相談